

平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 第一カッター興業株式会社

コード番号 1716 URL <http://www.daiichi-cutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広瀬 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 小池 保

TEL 0467-85-3939

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	3,993	5.3	307	43.7	332	63.7	211	97.1
23年6月期第2四半期	3,792	21.1	214	9.6	202	△5.7	107	△10.9

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 221百万円 (86.9%) 23年6月期第2四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	73.73	—
23年6月期第2四半期	37.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
24年6月期第2四半期	5,812		4,366		74.3		1,518.00	
23年6月期	5,492		4,190		75.6		1,444.20	

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 4,320百万円 23年6月期 4,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
23年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,580	4.4	398	95.0	425	88.1	270	119.4	94.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	3,000,000 株	23年6月期	3,000,000 株
24年6月期2Q	153,870 株	23年6月期	124,070 株
24年6月期2Q	2,871,881 株	23年6月期2Q	2,875,930 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い緩やかな回復基調にあるものの、欧米における金融不安や急速な円高の進行など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましても、震災復興に向けた動きはあるものの、公共工事が低調に推移しており、民間工事においても企業の設備投資意識が弱く、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況下で、当社グループは東日本大震災における被災地の復旧・復興支援に尽力する一方、新規顧客の開拓や材料費等のコスト削減にも取り組み、その結果、グループ全体の完成工事高は3,993百万円(前年同四半期比5.3%増)となり、営業利益は307百万円(前年同四半期比43.7%増)、経常利益は332百万円(前年同四半期比63.7%増)、第2四半期純利益は211百万円(前年同四半期比97.1%増)となりました。

なお、当社グループの事業は公共事業関連工事が多いため、売上高は第1四半期(7月～9月)・第4四半期(4月～6月)に減少し、第2四半期(10月～12月)・第3四半期(1月～3月)に増加いたしました。今後、このような業績の変動を平準化していく方針であります。当面、業績が第2四半期、第3四半期に偏る傾向が続くものと思われま。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(切断・穿孔工事事業)

切断・穿孔工事事業につきましては、耐震補強関連工事、高速道路補修関連工事、民間設備投資関連工事、橋脚補修関連工事及び電鉄補修関連工事等の強化・市場拡大に努めました。また、震災復興関連工事も増加いたしました。その結果、切断・穿孔工事事業の完成工事高は3,954百万円(前年同四半期比5.0%増)となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業につきましては、前期に引き続き新規の顧客開拓に努めてまいりました。その結果、完成工事高は39百万円(前年同四半期比53.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ320百万円増加し、5,812百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ144百万円増加し、1,446百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、4,366百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は74.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの現金及び現金同等物(以下「資金」という)

は、第2四半期連結累計期間において、営業活動で101百万円の増加、投資活動で10百万円の増加、財務活動で51百万円の減少となった結果、1,665百万円となりました。主な要因は次のとおりです。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

当第2四半期連結累計期間における営業活動の資金の増加は101百万円（前年同期は68百万円の減少）となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益が411百万円、売上債権の増加による支出が278百万円あったことなどによります。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

当第2四半期連結累計期間における投資活動の資金の増加は10百万円（前年同期は206百万円の減少）となりました。主な要因としては、有形固定資産の売却による収入が101百万円、有形固定資産の取得による支出が95百万円あったことなどによります。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

当第2四半期連結累計期間における財務活動の資金の減少は、51百万円（前年同期は28百万円の減少）となりました。主な要因としては、配当金の支払による支出が28百万円、自己株式の取得による支出が15百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経済環境の影響を受け、第2四半期連結累計期間の業績予想に差異が生じる結果となりました。これにより、平成23年8月12日付で発表いたしました「平成23年6月期決算短信」における平成24年6月期の第2四半期連結累計期間（平成23年7月1日～平成23年12月31日）及び通期（平成23年7月1日～平成24年6月30日）の業績予想について、修正を行っております。

詳細については、平成24年2月6日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を御参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算について、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示してあります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,611,995	1,667,751
受取手形・完成工事未収入金	1,463,475	1,758,263
未成工事支出金	75,097	122,991
材料貯蔵品	53,060	57,034
繰延税金資産	16,015	16,015
その他	62,016	35,403
貸倒引当金	△13,582	△16,174
流動資産合計	3,268,079	3,641,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	387,454	386,902
減価償却累計額	△164,921	△172,615
建物及び構築物（純額）	222,533	214,287
機械装置及び運搬具	1,732,032	1,724,914
減価償却累計額	△1,456,080	△1,457,611
機械装置及び運搬具（純額）	275,952	267,303
工具、器具及び備品	66,414	65,813
減価償却累計額	△60,183	△61,593
工具、器具及び備品（純額）	6,231	4,219
土地	1,278,952	1,263,614
有形固定資産合計	1,783,668	1,749,424
無形固定資産	19,978	18,405
投資その他の資産		
投資有価証券	100,256	106,805
繰延税金資産	185,679	165,961
その他	161,661	143,098
貸倒引当金	△27,246	△12,083
投資その他の資産合計	420,350	403,781
固定資産合計	2,223,998	2,171,612
資産合計	5,492,078	5,812,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	353,633	347,379
短期借入金	44,316	44,316
未払法人税等	12,599	176,179
賞与引当金	28,773	27,640
その他	322,742	334,880
流動負債合計	762,064	930,935
固定負債		
長期借入金	100,679	93,521
退職給付引当金	369,679	363,365
役員退職慰労引当金	63,862	53,072
負ののれん	1,140	684
資産除去債務	4,494	4,527
固定負債合計	539,855	515,171
負債合計	1,301,919	1,446,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	470,300	470,300
資本剰余金	465,100	465,100
利益剰余金	3,324,468	3,506,981
自己株式	△106,438	△121,934
株主資本合計	4,153,429	4,320,446
少数株主持分	36,728	46,345
純資産合計	4,190,158	4,366,791
負債純資産合計	5,492,078	5,812,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
完成工事高	3,792,798	3,993,875
完成工事原価	2,727,536	2,831,794
完成工事総利益	1,065,261	1,162,081
販売費及び一般管理費	850,976	854,145
営業利益	214,285	307,936
営業外収益		
受取利息	101	20
受取保険金	6,313	3,511
受取家賃	—	595
負ののれん償却額	456	456
持分法による投資利益	—	8,709
雑収入	10,718	11,805
営業外収益合計	17,588	25,096
営業外費用		
支払利息	1,107	857
売上債権売却損	11	16
持分法による投資損失	27,929	—
雑損失	—	131
営業外費用合計	29,048	1,004
経常利益	202,825	332,028
特別利益		
固定資産売却益	3,154	84,694
償却債権取立益	190	—
特別受取保険金	—	24,820
保険解約返戻金	23,874	6,109
役員退職慰労引当金戻入額	—	15,595
特別利益合計	27,219	131,219
特別損失		
固定資産売却損	170	5,445
固定資産除却損	74	349
和解金	—	30,000
減損損失	—	16,238
特別損失合計	244	52,033
税金等調整前四半期純利益	229,799	411,213
法人税等	111,395	189,866
少数株主損益調整前四半期純利益	118,404	221,347
少数株主利益	10,984	9,616
四半期純利益	107,419	211,730

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	118,404	221,347
四半期包括利益	118,404	221,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,419	211,730
少数株主に係る四半期包括利益	10,984	9,616

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229,799	411,213
減価償却費	66,824	80,178
長期前払費用償却額	160	147
のれん償却額	209	209
負ののれん償却額	△456	△456
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,430	△12,571
受取利息	△101	△20
支払利息	1,107	857
持分法による投資損益 (△は益)	27,929	△8,709
固定資産除却損	74	349
固定資産売却損益 (△は益)	△2,983	△79,249
受取保険金	△6,313	△3,511
特別受取保険金	—	△24,820
保険解約返戻金	△23,874	△6,109
和解金	—	30,000
減損損失	—	16,238
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△120,509	△10,789
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,565	△6,313
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,443	△1,133
未払費用の増減額 (△は減少)	5,786	△9,802
未払金の増減額 (△は減少)	9,597	△1,957
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,267	25,299
売上債権の増減額 (△は増加)	△262,091	△278,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35,815	△51,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,827	△6,254
その他	26,495	38,197
小計	△60,281	100,387
利息及び配当金の受取額	2,741	2,180
利息の支払額	△1,084	△911
保険金の受取額	6,313	3,511
特別保険金の受取額	—	24,820
保険解約返戻金の受取額	26,043	8,891
和解金の支払額	—	△30,000
法人税等の支払額	△42,656	△7,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,923	101,383

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,802	△1,900
定期積金の払戻による収入	251,400	6,903
有形固定資産の取得による支出	△463,621	△95,252
有形固定資産の売却による収入	5,810	101,592
無形固定資産の取得による支出	△723	△458
貸付金の回収による収入	686	172
保険積立金の積立による支出	△8,027	△190
保険積立金の払戻による収入	179	—
その他	10,660	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,436	10,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,160	△7,158
配当金の支払額	△28,733	△28,714
少数株主からの払込みによる収入	4,900	—
自己株式の取得による支出	—	△15,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,993	△51,368
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△304,353	60,758
現金及び現金同等物の期首残高	1,619,066	1,605,193
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,314,713	1,665,951

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
(単位：千円)

	報告セグメント		
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,767,005	25,792	3,792,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	3,767,005	25,792	3,792,798
セグメント利益又は損失(△)	583,129	△13,185	569,943

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	569,943
のれん償却額	△209
全社費用(注)	△355,449
四半期連結損益計算書の営業利益	214,285

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
(単位：千円)

	報告セグメント		
	切断・穿孔工事 事業	ビルメンテナン ス事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,954,329	39,545	3,993,875
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	3,954,329	39,545	3,993,875
セグメント利益又は損失(△)	675,886	△9,676	666,209

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	666,209
のれん償却額	△209
全社費用(注)	△358,064
四半期連結損益計算書の営業利益	307,936

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理本部に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビルメンテナンス事業」セグメントにおいて、16,238千円の固定資産減損損失を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。